



授業実践ギャラリー

普通科作業学習

園芸班

普通科には”領域・教科を合わせた指導”として「作業学習」があります。

「紙工」「布工」「園芸」「陶芸」
「サービス」「カフェ・清掃（2・3年のみ）」があります。

それぞれ作業内容は違いますが、
いずれの班も「働くための基本的なスキル」の獲得を目標としています。
挨拶・時間をまもる・身だしなみ・
報告・連絡・相談などのスキルを、
各作業種のなかで身に付けます。

今日は園芸班を見てみましょう。





園芸班は校内にある畑で野菜を作ったり、花を育てたりしています。今の季節は気持ちよいですが、じきに暑さと虫との闘いになります。「キツイけど働き続ける」ことが身に付く作業班かもしれません。

この日はじゃがいもの芽欠きをしていました。一つの種イモから出た芽を、太いもの2本を残して抜きます。太いのはどれかを見る観察力、何本抜くかの計算力が必要です。何より大切なのは、分からなければ聞く力。





別のグループではプランターのパンジーを植え替えていました。このパンジーは卒業式、入学式に並んでいたもので、園芸班の生徒たちが育てて準備してくれたものです。

咲き終わった花を摘み取りながら、移植していきます。どれを残せばいいかを考えながら、先生に確認して作業を進めます。

